

令和 6 年 7 月 28 日

長浜市議会議長 中 川 勇 様

会 派 名 無 会 派
代表者名 杉 本 英 一
(又は議員名)

旅費の支出をとまなう政務活動報告書

旅費の支出をとまなう政務活動を下記のとおり実施しましたので、提出します。

記

- 1 実施年月日 令和 6 年 7 月 16 日～ 7 月 17 日
- 2 政務活動の種別 調査研究 研修 要望・陳情
- 3 参加者
杉本 英一
- 4 活動の成果
講師 黒瀬雄大 元交野市議会議員
執行部にあしらわれない質問の組み立て方・質問で成果を上げる方法
- 5 行き先 福岡市（行程、交通手段が分かるように記載してください。）
行き 米原駅から新幹線で博多駅
帰り 博多駅から新幹線で米原駅
- 6 参考添付資料等
講習が、7月17日の午前10・00からなので、当日は間に合わないため
前日入りになります。

まず学んだ事は、自治体は3つの類型に分けられるということです。

① 前例踏襲自治体 ②横並び自治体 ③先進自治体

1. 前例踏襲自治体の特徴として、職員の口癖「これまでどうやってきたんだ」
 2. コンプライアンスは低い。前例が至上で、法律に書いてあることを確認する習慣がない。結果不祥事が頻発。
 3. 微税率が低い。見積り合わせの見積もりを1社にとってこさせる。落札率が高い。
- ② 横並び自治体の特徴として、職員の口癖「ヨソはどうしているんだ」

1. コンプライアンスは、法律は遵守する。一方で判断は都道府県に問い合わせ、自分の頭で考えることをしない。
 2. 縁故採用はなく、競争試験が機能している。ただし他府県の出身者は少ない。
 3. 職場の不満話は多いが、途中退職者は少ない。
- ③
1. 先進自治体の特徴として、自分達は、どうしていきたいか。「本来どうすべきなんだ」と考えている職員が大多数であり、全自治体の1割程度であり、特に埼玉県・千葉県に多い。
 2. コンプライアンスは、法律を遵守した上で、法律の解釈権は自治体にあることを理解しており、場合によっては国と闘う。
 4. 抜擢人事が多い。出向などで民間との交流が多く、異端分子を受け入れることを恐れない。

この様にまず自分の自治体の類型を把握してから、執行部にあしらわれないように、質問を組み立てていく事が必要であります。

次に質問のゴールを設定することが必要であります。よくある当局の逃げ答弁として、検討をします・市でできることはありません・予算がないなどがあります。しかしそこは、質問の獲得目標を明確にして、「何を答えさせるか」から逆算して、行政が動く迄、何度でも質問を繰り返す事が、大事であることも再認識しました。

検討をします と言われれば次の議会で、検討結果を伺いますと述べる。市でできることではありませんと言われれば、何故できないのか法的な理由を教えてくださいと聞くこと。予算がないと言われれば、いくら足りないのですか、見積もり金額を教えてくださいと問うこと。等いずれにしても、当局にあしらわれない質問の組み立て方を、しっかりと考え成果を上げていかなければと痛感しました。